

軽微な変更の対象範囲について（各ルート判定一覧表）

モデル建物法の入力項目 (評価方法の変更は不可)			ルートAの条件	ルートBの条件 (変更前B値が一定以上※ であることが前提)	ルートCの条件 (再計算による基準 適合が必須)	備考		
基本情報	C1	建物名称	変更可					
	C2	省エネルギー基準地域区分	変更不可					
	C3	計算対象建物用途	変更不可					
	C4	計算対象室用途(集会所等のみ)	変更不可					
	C5	計算対象面積	変更不可					
空気調和設備（外皮）	建物形状	PAL1	階数	変更不可				
		PAL2	各階の階高の合計	減少	変更可	ルートA-イ		
		PAL3	建物の外周長さ	減少	変更可	ルートA-イ		
		PAL4	非空調コア部の外周長さ	変更不可				
		PAL5	非空調コア部の方位	変更不可				
	外壁性能	PAL6	外壁面積-北	減少	変更可	ルートA-ロ		
		PAL7	外壁面積-東	減少	変更可	ルートA-ロ		
		PAL8	外壁面積-南	減少	変更可	ルートA-ロ		
		PAL9	外壁面積-西	減少	変更可	ルートA-ロ		
		PAL10	屋根面積	減少	変更可	ルートA-ロ		
		PAL11	外気に接する床の面積	減少	変更可	ルートA-ロ		
		PAL12	外壁の平均熱貫流率	変更不可	減少又は 5%を超えない増加	変更可	ルートB-イ(イ) (ルートB-イ(ロ)と両立不可)	
		PAL13	屋根の平均熱貫流率	変更不可	減少又は 5%を超えない増加	変更可	ルートB-イ(イ) (ルートB-イ(ロ)と両立不可)	
	PAL14	外気に接する床の平均熱貫流率	変更不可	減少又は 5%を超えない増加	変更可	ルートB-イ(イ) (ルートB-イ(ロ)と両立不可)		
	窓性能	PAL15	窓面積-外壁面(北)	変更不可		変更可		
		PAL16	窓面積-外壁面(東)	変更不可		変更可		
		PAL17	窓面積-外壁面(南)	変更不可		変更可		
		PAL18	窓面積-外壁面(西)	変更不可		変更可		
		PAL19	窓面積-屋根面	変更不可		変更可		
		PAL20	外壁面に設置される窓の 平均熱貫流率	変更不可	減少又は 5%を超えない増加	変更可	ルートB-イ(イ) (ルートB-イ(ロ)と両立不可)	
		PAL21	外壁面に設置される窓の 平均日射熱取得率	変更不可	減少又は 5%を超えない増加	変更可	ルートB-イ(イ) (ルートB-イ(ロ)と両立不可)	
		PAL22	屋根面に設置される窓の 平均熱貫流率	変更不可	減少又は 5%を超えない増加	変更可	ルートB-イ(イ) (ルートB-イ(ロ)と両立不可)	
		PAL23	屋根面に設置される窓の 平均日射熱取得率	変更不可	減少又は 5%を超えない増加	変更可	ルートB-イ(イ) (ルートB-イ(ロ)と両立不可)	
		空気調和設備（空調）	全体	AC0	空気調和設備の評価	変更不可		変更可
熱源			AC1	主たる熱源機種(冷房)	変更不可		変更可	
	AC2		個別熱源比率(冷房)	変更不可		変更可		
	AC3		熱源容量(冷房)の入力方法	変更不可		変更可		
	AC4		床面積あたりの熱源容量(冷房)	変更不可		変更可		
	AC5		熱源効率(冷房)の入力方法	変更不可		変更可		
	AC6		熱源効率(冷房、一次エネルギー換算)	向上	10%を超えない低下	変更可	ルートA-ハ、ルートB-イ(ロ)(ルートB-イ(イ)と両立不可)	
	AC7		主たる熱源機種(暖房)	変更不可		変更可		
	AC8		個別熱源比率(暖房)	変更不可		変更可		
	AC9		熱源容量(暖房)の入力方法	変更不可		変更可		
	AC10		床面積あたりの熱源容量(暖房)	変更不可		変更可		
	AC11		熱源効率(暖房)の入力方法	変更不可		変更可		
	AC12		熱源効率(暖房、一次エネルギー換算)	向上	10%を超えない低下	変更可	ルートA-ハ、ルートB-イ(ロ)(ルートB-イ(イ)と両立不可)	
外気処理	AC13		全熱交換器の有無	変更不可		変更可		
	AC14		全熱交換効率	変更不可		変更可		
	AC15		自動換気切替機能	「無」から「有」への変更		変更可	ルートA-ハ	
	AC16		予熱時外気取入れ停止の有無	変更不可		変更可		
搬送制御	AC17		二次ポンプの変流量制御	変更不可		変更可		
	AC18	変流量時最小流量比	変更不可		変更可			
	AC19	空調機の変風量制御	変更不可		変更可			
	AC20	変風量時最小風量比	変更不可		変更可			

軽微な変更の対象範囲について（各ルート判定一覧表）（つづき）

モデル建物法の入力項目 (評価方法の変更は不可)			ルートAの条件	ルートBの条件 (変更前BELが一定以上※ であることが前提)	ルートCの条件 (再計算による基準 適合が必須)	備考
機 械 換 気 設 備	全体	V0	機械換気設備の評価	変更不可		変更可
		V1	機械換気設備の有無	変更不可		変更可
	機械室 便所	V2	計算対象床面積	変更不可	5%を超えない増加	ルートB-α(n)(同用途のルートB-α(i)と両立不可)
		V3	換気方式	変更不可		変更可
		V4	電動機出力の入力方法	変更不可		変更可
		V5	単位送風量あたりの電動機出力	減少	10%を超えない増加	ルートA-ハ、ルートB-α(i)
		V6	高効率電動機の有無	「無」から「有」への変更		変更可 ルートA-ハ
		V7	換気ファンのインバータ制御の有無	「無」から「有」への変更		変更可 ルートA-ハ
		V8	送風量制御の有無	「無」から「有」への変更		変更可 ルートA-ハ
		V1	機械換気設備の有無	変更不可		変更可
	駐車場 厨房	V2	計算対象床面積	変更不可	5%を超えない増加	ルートA-ハ、ルートB-α(i)(同用途の ルートB-α(n)と両立不可)
		V3	換気方式	変更不可		変更可
		V4	電動機出力の入力方法	変更不可		変更可
		V5	単位送風量あたりの電動機出力	減少	10%を超えない増加	ルートA-ハ、ルートB-α(i)(同用途の ルートB-α(n)と両立不可)
		V6	高効率電動機の有無	「無」から「有」への変更		変更可 ルートA-ハ
		V7	換気ファンのインバータ制御の有無	「無」から「有」への変更		変更可 ルートA-ハ
		V8	送風量制御の有無	「無」から「有」への変更		変更可 ルートA-ハ
		V1	機械換気設備の有無	変更不可		変更可
照 明 設 備	全体	L0	照明設備の評価	変更不可		変更可
	用途1 用途2 用途3	L1	照明設備の有無	変更不可		変更可
		L2	照明器具の消費電力の入力方法	変更不可		変更可
		L3	室指数	室指数が小さくなる変更		変更可 ルートA-ハ
		L4	照明器具の単位床面積あたりの消費電力	減少	10%を超えない増加	ルートA-ハ、ルートB-ハ
		L5	在室検知制御	「無」から「有」への変更		変更可 ルートA-ハ
		L6	明るさ検知制御	「無」から「有」への変更		変更可 ルートA-ハ
		L7	タイムスケジュール制御	「無」から「有」への変更		変更可 ルートA-ハ
		L8	初期照度補正機能	「無」から「有」への変更		変更可 ルートA-ハ
給 湯 設 備	全体	HW0	給湯設備の評価	変更不可		変更可
	洗面・ 手洗い、 浴室、 厨房	HW1	給湯設備の有無	変更不可		変更可
		HW2	熱源効率の入力方法	変更不可		変更可
		HW3	熱源効率(一次エネルギー換算)	向上	10%を超えない低下	ルートA-ハ、ルートB-ニ
		HW4	配管保温仕様	保温仕様の良くなる(裸管→保温仕様2または 3→保温仕様1、もしくは、裸管→保温仕様D→ 保温仕様C→保温仕様B→保温仕様A)変更		変更可 ルートA-ハ
		HW5	節湯器具	「無」から「節湯B1」または「無」から 「自動給水栓」への変更		変更可 ルートA-ハ
昇 降 機	全体	EV1	昇降機の有無	変更不可		変更可
		EV2	速度制御方式	速度方式により定められる係数が小さくなる変 更(交流帰還制御等 1/20、可変電圧可変周波数 制御方式(回生なし) 1/40、可変電圧可変周波数 制御方式(回生あり) 1/45)		変更可 ルートA-ハ
太 陽 光 発 電 設 備	全体	PV1	太陽光発電設備の有無	「無」から「有」への変更		変更可 ルートA-ニ
		PV2	年間日射地域区分	変更不可		変更可
		PV3	方位の異なるパネルの数	増加		変更可 ルートA-ニ
	パネル毎	PV4	太陽電池アレイシステムの容量	増加	2%を超えない減少	ルートA-ニ、ルートB-α(i)(同パネル のルートB-α(n)と両立不可)
		PV5	太陽電池アレイの種類	変更不可		変更可
		PV6	太陽電池アレイの設置方式	変更不可		変更可
		PV7	パネルの設置方位角	変更不可	30度を超えない増加	ルートB-α(n)(同パネルのルートB-α(i)と両立不可)
		PV8	パネルの設置傾斜角	変更不可	10度を超えない増加	ルートB-α(n)(同パネルのルートB-α(i)と両立不可)

※ 変更前の設計一次エネルギー消費量(その他一次エネを除く。)が基準一次エネルギー消費量(その他一次エネを除く。)に比較し10%以上少ないこと

補足) 表中の「変更不可」とあるのは、「エネルギー消費性能が低下しない変更」である場合を除く。

注意) コージェネレーション設備に係る変更については、ルートA及びルートBの適用は不可(ルートCのみ適用可能)

なお、上表の照明設備では、「L8 室指数」と記載されているが、実際のモデル建物法入力シートでは室の高さ（m）を入力することとなる。室の高さから室指数は次の計算式により求めることとなるが、モデル建物法の軽微な変更用の確認シートを用いる際は自動的に計算し判別を行うため、改めて計算を行うことは要しない。